

こんな新語を加えました

黒川尚彦



◆インターネット・SNS に関連することば

誰もがスマホを持つ現在では SNS 利用者も多く、それを代表する語が以下の 2 語である。

・instagram^名 [Instagram] ^U (商標) インスタグラム《無料の画像供給サービス、またこれを利用するためのアプリ》、^{動他自} (…を) インスタグラムに上げる。

・instagrammable^形 インスタ映える。

テレビよりネットを利用する時間が長い人も増え、ネット番組の充実からこんな語が生まれた。

・binge-watch^{動他自} (番組など) を一気に見る。

学校のクラブ活動として話題となり、近年プロも増えつつあるものと言えば、これ。

・e-sport, esport^名 ^C [通例複数] e スポーツ《複数のプレイヤーが対戦するコンピューターゲームをスポーツとして捉えた名称》。

◆新技術に関連することば

新技術のほとんどが情報科学関連である。IoT (Internet of Things) は近年のキーワードの 1 つであり、smart speaker はその代表的製品である (どちらも新語として収録)。この製品に搭載されている AI は次の手法に支えられている。

・deep learning^名 ^U ディープラーニング、深層学習《脳神経回路をモデルとした機械学習手法》

このような先端技術を知ると未来が見える。そんな未来が反映されているのが次の 2 語である。

・self-driving^形 (コンピュータによる) 自動運転の。

・mixed reality^名 ^U 複合現実《現実世界と仮想世界を融合した世界、またそれを実現する技術；^略MR》。

何事にも光と陰があるが、先端技術の間は気づかないうちに忍び寄っていることがある。餌食 (bait) にならないようにしたいものだ。

・click-bait, clickbait^名 ^U クリックベイト《ウェブサイトの閲覧者にクリックさせるような文言の広告》

◆メディアに関連することば

情報過多の現在、その処理だけでも苦勞するの、その真贋まで見極める必要が生じるとは。

・fake news^名 ^U フェイクニュース。

メディアに社会問題として取り上げられた次のことばも新たに加えられた。

・hate speech^名 ^U ^C (特定の人種・宗教などに対する偏見に基づく) 憎悪発言、ヘイトスピーチ。

新語は話題にのぼり目をひくことが多いが、新義にも注目してもらいたい。意味の変化もことばの重要な側面である。たとえば、スマホやタブレットの操作には欠かせない swipe (スワイプする)。また、SNS では友達作りが手軽な反面、その関係を切ることも容易にできる (ghost : 〈人〉との一切の連絡を急に断つ、着拒する)。ここでは紹介しきれなかった新語・新義は多数あり、発見の楽しみを残しておきたい。

(くろかわ なおひこ・大阪工業大学講師)